

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

商工観光課

件名	歴史的建造物を活用した宿泊施設が令和3年秋にオープンします。												
アピールポイント	「鹿島市ニューツーリズム推進協議会」の会員である九州旅客鉄道株式会社が鹿島市と連携し、肥前浜宿の「光武酒造場別宅」を活用して宿泊施設を開業することで、滞在型観光の拡大につなげます。												
説明	<p>『酒薫る宿場町の商家にて、古今の往来に酔いしれる』を旅のテーマとした宿泊施設を九州旅客鉄道株式会社が令和3年秋、肥前浜宿「酒蔵通り」に開業予定です。</p> <p>九州旅客鉄道株式会社は、民泊や体験をとおして交流人口の増加を目的に活動している「鹿島市ニューツーリズム推進協議会」の会員であり、新たな宿泊施設の誕生により、市内観光に新たなスポットが加わります。</p> <table><tr><td>施設名</td><td>茜さす 肥前浜宿</td></tr><tr><td>構造</td><td>木造2階建</td></tr><tr><td>所在地</td><td>鹿島市浜町字平松乙2686</td></tr><tr><td>客室</td><td>2室</td></tr><tr><td>客室面積</td><td>客室1 70.48㎡ 客室2 76.99㎡</td></tr><tr><td>定員</td><td>1室あたり4名</td></tr></table>	施設名	茜さす 肥前浜宿	構造	木造2階建	所在地	鹿島市浜町字平松乙2686	客室	2室	客室面積	客室1 70.48㎡ 客室2 76.99㎡	定員	1室あたり4名
施設名	茜さす 肥前浜宿												
構造	木造2階建												
所在地	鹿島市浜町字平松乙2686												
客室	2室												
客室面積	客室1 70.48㎡ 客室2 76.99㎡												
定員	1室あたり4名												
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし												

本件に関する問合せ先

所属	商工観光課 観光振興係
氏名	森 隆文
TEL	0954-63-3412
FAX	0954-63-2313
Mail	rousei@city.saga-kashima.lg.jp

2021年3月24日

佐賀県鹿島市、宮崎県日南市において 歴史的建造物を活用した宿泊事業を開始

当社は、鹿島市、日南市において歴史的建造物を活用した宿泊事業を開始いたします。

鹿島市においては光武酒造場所所有の「光武酒造場別宅」、日南市においては日南市所有の「旧伊東伝左衛門家」の計2棟を改修し、宿泊施設として活用します。

名称は「茜さす」とし、鹿島市の宿泊施設は「茜さす 肥前浜宿」、日南市の宿泊施設は「茜さす 飫肥」といたします。開業時期は「茜さす 肥前浜宿」は2021年秋、「茜さす 飫肥」は2021年冬を予定しております。

本取り組みを通じて自治体、事業者等と連携し、佐賀県鹿島市、宮崎県日南市の観光需要創出を目指した滞在型観光の拡大につなげていきます。

1. 名称

「茜さす」

(由来)

“茜さす”とは茜色に照り映える意味から「紫」「日」などにかかる枕詞です。九州は筑紫島（つくしのしま）と古称されており、語の中に「紫」が含まれています。

“茜さす”という名称には、照り輝く「日」を連想し、そこに続く「九州」を暗示しております。九州の島々に日の出が滲み、鮮やかに照り輝き、次代の黎明を感じさせる、そのような意味を名称に込めました。

2. 施設・地域の概要

○佐賀県鹿島市 肥前浜宿

(旅のテーマ) 酒薫る宿場町の商家にて、古今の往来に酔いしれる。

施設の概要

施設名	茜さす 肥前浜宿
建設年	明治時代中期
構造	木造2階建て
所在地	鹿島市浜町字平松乙2686
客室数	2室
客室面積	【客室1】70.48㎡、【客室2】76.99㎡
定員	1室あたり4名
設計	魚谷繁礼建築研究所
構造監修	京都大学生存圏研究所 五十田研究室
開業時期	2021年秋



「茜さす 肥前浜宿」 外観イメージ



「茜さす 肥前浜宿」 共用部イメージ

施設の特徴

本物件は多良往還（現・酒蔵通り）の北側に建つ、入母屋造妻入りの建物です。表構えは1、2階とも建設当時の雰囲気比較的良く残しております。現在は光武家本家が所有しています。

光武酒造場別宅が歩んできた歴史、地域の特性、文化を尊重した改修を実施します。宿泊に必要な機能は、光武酒造場に潜むデザインコードを再解釈して整備し、過去と現在が調和する、上質な町家の宿泊施設を目指します。

肥前浜宿

肥前浜宿は明治期以降、酒造業や水産加工業によって富を蓄積し、繁栄しました。土蔵造や草葺の町家が伝統的なまちなみを形成しており、2006年には重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。現在でも酒造りが盛んで、肥前浜宿には3つ、鹿島市内では6つの酒蔵があります。毎年3月末には6つの酒蔵の同時蔵開き「鹿島酒蔵ツーリズム」が行われ、2018年度は2日間で9万9千人が訪れています。また同企画を運営する「鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会」は、総務省が主催する2019年度「ふるさとづくり大賞」において最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞するなど全国的にも鹿島市の酒蔵が注目を集めています。

○宮崎県日南市 飢肥

(旅のテーマ) ひっそりと佇む武家屋敷で、穏やかなる季(とき)に抱かれる。

施設の概要

施設名	茜さす 飢肥
建設年	江戸時代後期
構造	木造平屋建て
所在地	宮崎県日南市飢肥四丁目 8248 番地 2
客室数	1室
客室面積	146.60 m ²
定員	6名
設計	森田一弥建築設計事務所
構造監修	京都大学生存圏研究所 五十田研究室
開業時期	2021年冬



「茜さす 飢肥」 外観イメージ



「茜さす 飢肥」 居室イメージ



「茜さす 飢肥」 浴室イメージ

施設の特徴

旧伊東伝左衛門家は上級藩士の武家屋敷で、飢肥城下では最も古い武家住宅です。その歴史的価値により市指定文化財に指定され、また伝統的建造物群保存地区保存物件となっています。庭園や石垣も往時の姿を良くとどめており、庭園は 2015 年 1 月 26 日に国登録記念物に登録されました。

上級藩士の邸宅がもつ格や品、邸内に漂う静謐さを引き継ぎ、市指定文化財としての価値を尊重した改修を実施します。建物—庭園—景観が育んできた豊かな関係性を継承し、上質な武家屋敷の宿泊施設とします。

飢肥

飢肥は、1588 年から明治初期まで飢肥藩として伊東家が治めた城下町です。この城下町には、武家屋敷を象徴する門構え、風情ある石垣や生垣などの町並みが良好に残されており、1977 年、九州で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。また城下には泰平踊、四半的及び弥五郎人形行事等、古くから継承されている伝統芸能、飢肥の天ぷら及び厚焼き卵の伝統食など、数多くの芸能・文化も伝えられています。

近年では、城下町に点在する歴史的建造物を活用し、地域の歴史や文化を新しい形で表現する祭典、「DENKEN WEEK」を開催しており、2018 年 10 月に開催された際には 1 万人以上の来場者がありました。

※本取り組みは当社の 2018 年度未来創造プログラム「HIRAMEKI」にて事業化に向けての検討が決定された案件です。「HIRAMEKI」とは、当社の全社員を対象とした新規事業提案制度です。提案が採用された社員は、その新規事業のプロジェクトに配属される制度となっています。社員が経営参画意識を持ち、会社と自分の未来を創り出していくことを目的としています。

以上

【報道機関からのお問合せ先】 広報部 092-474-2541

九州旅客鉄道株式会社

本社 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前 3 丁目 25 番 21 号

